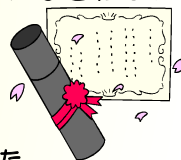


凡事徹底 野間中だより

平成28年3月24日
第226号
野間中学校



第69回卒業式

3月4日(金)本校体育館にて美浜副町長 石川達男様をはじめとされるたくさんのご来賓をお招きし、第69回卒業式が行われました。厳粛なる証書授与とすばらしい歌声とが感動を呼び、伝統ある野間中にふさわしい卒業式となりました。温かい春の日差しを浴びながら97名が野間中学校から旅立ちました。



校長 寺田 眞一

卒業していくみなさんへ (卒業式 校長式辞より抜粋)

卒業生のみなさん。3年前、みなさんの入学式で、私はこんな話をしました。
『中学校生活3年間で、ときに心配になったり、苦しんだりする。しかし、周りの人に支えられながら、困難を一つ乗り越えるたびに実力がついていく。心配ない。今日からここにいるみんな、自慢できる野間中学校を作り上げていこう。』
皆さんは私の願い以上に、素晴らしい成長を見せてくれました。

学級や部活動での3年のリーダーシップは、1・2年生のお手本であり、めざすべき目標でした。なぜならみなさんは、「自ら発信」を合い言葉に、やらされるのではなく、自らやるうとする気持ちをもって学校の改善に取り組んでいたからです。

美化委員会を中心に取り組んだ黙々清掃は、黙って掃除をすることから発展して、丁寧に掃除すること、隅々まで目を配ること、そして最終目標を「掃除三昧」することにした、ユニークな取組でした。夢中になって掃除に取り組むみなさんは、一段階上の清掃体験をした充実感に満ちていました。そして、その取組の成功の鍵は、みなさん自身が自ら発信する姿でした。

「野間中ケタイ利用の凡事徹底5カ条」もまた、みなさんの作り上げたものでした。野間中学生徒会とPTAが共同提案したこととともに、生徒会が中心になって生徒自身で一からつくったことは、他校にない自慢できることです。「目と心での会話を大切に」の一文には、スマホより大切なものがあるというメッセージが感じられます。みなさん自ら発信したよさが、この5カ条の中身によく表れていました。

リーダー会のみんなは、部活動でへとへとになっていたり、受験を控えて追い詰められた気持ちになっていたり、自分のことで目いっぱいなときなのに、学級のため、学年のために優先して心を砕いていました。周りのみんなは、その姿を認め共感し、リーダーを支えるフォロワーとなって学年全体に広がっていきました。自ら考えて、行動して、そして仲間たちとの絆を強くしながら生活を見直していく姿は素晴らしかった。本当に素晴らしかった。

これからみなさんには、それぞれの進路に分かれ、希望あふれる未来が待っています。ただ実際は希望よりも不安や心配が大きく、今も苦しんだり悩んだりしている人も多いでしょう。しかし、みなさんはここまで立派に成長する姿を見せてきたではないですか。大丈夫。自信をもって夢や希望に向かってください。みなさんにはその力が備わっています。将来、今度はみなさんが人とのつながりを大切にして、この美浜の町を、日本を支え、ますます輝かせていくときがやってきます。そんなみなさんのこれからの活躍を職員一同、いつまでも応援していきます。



卒業証書授与



卒業生答辞



卒業生退場



クラスでのお別れ



森下先生も…

お知らせ 平成28年度 入学式・始業式 4月7日(木) 10時
受付 新入生・保護者 9:20~9:40 来賓 9:30~9:40
入学式・始業式 10:00~10:45
式後 新入生・保護者 記念撮影, 学級活動後下校
※新2・3年生 事前出校日 4月6日(水) 8:20 入学式・始業式 4月7日(木) 8:20

編集部より 「野間中だより」をご愛読ありがとうございます。「野間中だより」は次号4月号よりリニューアルし、平成28年度もリアルタイムに野間中の様子をお伝えしていきます。

野間中だより編集部 nomajh_dayori@yahoo.co.jp

「わかる」「できる」を実感できる授業づくりを目指しての授業研究実践を連載で紹介してきました。最終回は**授業以外の研究実践**を紹介します。

リーダー育成・リーダー会の活動

野間中学校には生徒指導で特に気をつけたいこと4つを、「野間中スタンダード」として、生徒に示している。それは「①服装、身なりを正すこと」「②時間を意識した行動」「③社会や学校のルールを守ること」「④交通安全」の4つ。この中でも、「服装、身なりを正すこと」「時間を意識した行動」は学習規律を保つ基礎だと考える。今年度2学期に各学級の級長・書記等でリーダー会を組織し、9月と11月に身だしなみキャンペーンを、10月には時間を意識して行動するキャンペーンを行った。このキャンペーンを行うことで教師だけではなく、リーダーもクラスに声をかけ、学校全体が身だしなみや時間を意識することができた。リーダーも自分たちが呼びかけたことで、少しずつ全体の意識が高まっていることを肌で感じ、成就感や達成感をもつことができたと感じる。

一般的に9月は夏休み明けのため、生活がルーズになりがちだが、このキャンペーンを9月初めから行うことで、気持ちよく2学期をスタートすることができ、それを3月まで継続することができた。



リーダー会での話し合い

小中連携

小中学校のなめらかな接続や指導の継続は、学年がかわったり、中学校に進学しても、子どもたちが、安心して、落ち着いて学習に取り組むことにつながり、学習の効果もあがることが予想できる。

美浜町西部（野間中校区）小中学校間では毎年授業を参観し合ったり、夏季休業中の校内研修会に参加し合っている。本年度は、2学期末に小中教務主任連絡会をもち、情報交換だけでなく、小学校の各教科で重点的に指導してほしいことを中学校からお願いした。その内容は、以下の通りである。



あいさつ運動

「小学校で重点的に指導してほしいこと（要望）」

- ・国語…同じ音のひらがなの違い分け、漢字を読む、正しい筆順で書く、意味を知る、ノートを取る、文章の組み立て
- ・社会…地図のよみ方（東西南北）、主要国名、歴史上の主要人物名
- ・算数…九九、四則計算
- ・理科…距離、速さ、時間の関係、分数から小数・小数から分数の計算
- ・音楽…ト音記号楽譜の階名がよめる、かける
- ・図工…主要な道具の安全な使い方
- ・体育…集団行動、ボールを投げる・キャッチする
- ・家庭…手縫い、簡単な玉結び・玉止め、ミシンの基礎的な使い方
- ・外国語…簡単なコミュニケーション方法
- ・情報…ローマ字がわかる



テスト週間中の学習タイム

また、西部小中学校4校が、同一歩調で取り組むことができることについて話し合いをした。学習規律や生徒指導に関わることとして「挨拶・時間を守ること・学習の手引の作成」があがった。

家庭学習・学習補充

本校では、学習補充として、学年毎に主要5教科のテキストを使って家庭学習に取り組んでいる。家庭学習への生徒たちの取り組み方や提出状況には課題があるため、テスト週間の授業後や長期休業中の部活動後に、学習タイムを設けている。参加生徒は、意欲をもって取り組んでいる。

成果と課題

本年度12月に、生徒に対して授業についてのアンケートを行った。Q「授業は学習のルールに則って進められているか」に対する「あてはまる」と答えた全校生徒の結果は88%であり、多くの生徒が、けじめある授業であると感じている。Q「どの授業も落ち着いた雰囲気があるか」に対して「あてはまる」と答えた生徒は62%にとどまっている。課題として、学習規律の確立から学習する雰囲気づくりにつなげるためには、さらにもうひと工夫が必要であることがわかった。

Q「授業はよくわかるか」に対して「あてはまる」と答えた生徒は、昨年と同じ75%だった。あまり大きな変化は見られなかったものの、Q「授業は楽しいか」に対して「あてはまる」と答えた生徒は、昨年度の57%から本年度74%に大きく増加した。Q「教科の基礎的・基本的な内容を身につけるための授業の工夫の中で、力がついたと感じられる方法は何か」については、国語・数学・理科で行っている確認小テストをあげる生徒が多くいた。生徒に話を聞くと、「授業中行うので、自分が理解できたかどうかその場で確認できる」という声が返ってきた。教師の授業に対する工夫が熱意となって生徒に伝わっていると感じる。



本校の研究実践は、一見すると「授業をする上での当たり前のこと」ととらえる方も多いと思います。しかし、その「当たり前のこと」、「学習規律の確立と基礎基本の定着を図ること」の大切さを、しっかりと認識し改善していく姿勢が、生徒や保護者、地域のみなさんの心に伝わることによって、野間中学校が「生徒が通いたくなる学校、保護者が通わせたい学校」「地域が誇りに思う学校」になれると考えます。来年度も、基礎基本を大切にし、生徒たちが「わかる」「できる」を実感できる授業づくりを目指し研究実践を進めていきます。